



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和2年12月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和2年12月14日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 ウィズコロナ～まずは近場の旅行から～
マイクロツーリズム推進モニターバスツアー（第2弾・早春編）を
実施します（資料1）
- 2 自動運転バス乗車モニターを募集します（資料2）
- 3 「共生社会実現のまち 渋川市」シンボルマークの
ラッピングバスが運行します（資料3）
- 4 第3回渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館のあり方検討委員会を
一般公開で開催します（資料4）
- 5 県産材を利用した丸太椅子を市役所第二庁舎に設置します（資料5）

その他資料提供

- ・日本のまんなか渋川・市長と語る会を伊香保温泉旅館協同組合婦人部 お香女会の
皆さんと「with コロナの時代における伊香保温泉の今後の展望について」を
テーマに開催します（資料6）

○次回開催予定

日時：令和2年12月21日(月)午後1時～

場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
12月14日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	14:00	(一社)渋川伊香保温泉観光協会 令和3年度予算編成に伴う要望書の提出	市長応接室	観光課
12月15日(火)	11:00	「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言 第9回署名式	記者会見室	政策創造課
	12:00	「木暮武太夫顕彰展」開催セレモニー	本庁舎1階市民ホール	生涯学習課
	14:00	第7回日本のまんなか渋川・市長と語る会	伊香保公民館	秘書室
12月16日(水)	13:30	「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言 第10回署名式	記者会見室	政策創造課
12月17日(木)	9:30	渋川市内部統制推進・評価会議	庁議室	総務課
	13:30	渋川市公民館活動功労者表彰及び社会教育研修会	金島公民館	中央公民館
	16:30	企業版ふるさと納税に対する感謝状の贈呈	(株)アイ・ディ・エー本社	政策創造課
12月18日(金)	9:00	寄附金に対する感謝状の贈呈	市長応接室	財務課
	13:00	「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言 第11回署名式	記者会見室	政策創造課
	14:00	叙勲受章報告会	市長応接室	総務課
	15:00	上毛新聞 新年インタビュー取材	市長室	秘書室
12月19日(土)				
12月20日(日)				
12月21日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	15:00	「共生社会実現のまち 渋川市」ラッピングバスお披露目式	渋川駅前	政策創造課

資料1

担当：産業観光部観光課 課長 寺島 剛 電話0279-22-2873 内線4880

ウィズコロナ～まずは近場の旅行から～ マイクロツーリズム推進モニターバスツアー (第2弾・早春編)を実施します

渋川市では、渋川伊香保温泉観光協会及び市内バス事業者と連携し、身近で気軽に観光を楽しむ「マイクロツーリズム」を推進する、モニターバスツアーの第2弾を実施します。

今回は、全4コースを令和3年1月から3月にかけて、計12回実施する予定です。参加申込みは、令和2年12月15日(火)から受付を開始します。

1 趣 旨

新型コロナウイルスの影響が不安視される中、長期化するウィズコロナ期において、観光産業が生き残っていくための方法の1つとして提唱されている「マイクロツーリズム」。渋川市では、市内観光資源の再発見と磨き上げを行い、「渋川市版マイクロツーリズム」を構築するとともに、観光産業の活性化を図ることを目的とした「マイクロツーリズム推進モニターバスツアー」を令和2年10月から12月に実施しました。これに続く第2弾となるバスツアーを、早春の令和3年1月から3月にかけて実施します。

2 目 的

新型コロナウイルス感染症の影響により、大打撃を受けた渋川北群馬エリア内の観光関連事業者等と連携し、域内の隠れた観光素材(資源)の発掘と磨き上げを図ることで、マイクロツーリズムの構築及び旅行(観光)マインド向上を目指します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止に関する各ガイドラインを遵守して実施することで、安心な観光地として認知度向上を図ります。

3 実施体制

渋川伊香保温泉観光協会が市内バス事業者と連携して実施し、その運営費用の一部を市が補助します。

(1) 実施主体 渋川伊香保温泉観光協会

(2) 催行事業者 関越交通株式会社

※旅行業法に該当するため、渋川市内に拠点を置く旅行業事業者にツアー催行に伴う一連の業務を委託し実施する。

4 事業概要

- (1) 事業名称 渋川市マイクロツーリズム推進モニターバスツアー実施事業
商品名：「しぶかわ魅力再発見！バスツアー」…関越交通(株)販売
- (2) 実施時期 令和3年1月15日(初回)～3月13日(最終回)
- (3) 募集期間 令和2年12月15日(火)～運行前日まで
※運行4日前時点で最少催行人員に満たない場合は催行中止
- (4) 対象者 どなたでも(子どものみの参加は不可)
- (5) 定員 20人(バス45人定員・応募状況により増便も検討)
- (6) 参加料 2,000円～2,500円(施設入館料、昼食代等)
- (7) アンケート 渋川市版マイクロツーリズムの構築に向けた基礎資料とすべく参加者全員にアンケートに答えていただきます

※詳しくは、12月15日(火)の新聞折込チラシ又は(一社)渋川伊香保温泉観光協会のホームページ(<https://www.ikaho-kankou.com/>)をご覧ください。

5 コース概要(催行回数)

- ①古代人に会いに行こう！群馬県埋蔵文化財調査センターと佛光山法水寺・創作こけし工房＝全4回
- ②有名ソースカツ弁当つき 春を探しに！早春の赤城自然園・いちご狩りツアー＝全2回
- ③未来を体感！自動運転バス体験乗車と上州おつきりこみ御膳・いちご狩りツアー＝全4回
- ④渋川のランドマーク 佐久発電所の歴史探訪と地産地消 春の郷土味覚ツアー＝全2回

6 申込方法

電話で関越交通(株)へ

- ・電話番号＝0120-753-815
- ・受付時間＝月～金曜日、午前9時～午後5時30分

※一部のコースを除きJR東日本「びゅうトラベルサービス」ホームページからも申込可能。

参考

《第1弾(令和2年10月～12月)の実施状況について》

- ①たっぷり赤城自然園&りんご狩りツアー＝全11回
定員＝260人 参加者＝170人 参加率＝65.4%
- ②秋名山ダウンヒル体感！頭文字D聖地巡礼バスツアー＝全6回
定員＝120人 参加者＝91人 参加率＝75.8%
- ③白井宿の歴史散策と地産地消 秋の郷土味覚ツアー＝全2回
定員＝40人 参加者＝27人 参加率＝67.5%
- ④渋川のランドマーク佐久発電所の歴史探訪と地産地消 秋の郷土味覚ツアー＝全3回
定員＝60人 参加者＝48人 参加率＝80.0%
- 合計 定員＝480人 参加者＝336人 参加率＝70.0%

資料2

担当：建設交通部交通政策課 課長 西脇 正悟 電話0279-22-2264 内線4781

自動運転バス乗車モニターを募集します

本市において路線バスの自動運転公道実証実験が行われることに伴い、市民に自動運転バスに乗車していただくことで、自動運転に対する理解を深めてもらうとともに、路線バスへの関心等を高めるため、自動運転バスの乗車モニターを募集します。

1 概 要

本市において路線バスの自動運転公道実証実験（実施主体：群馬県・群馬大学）が中心市街地を循環するルート（渋川駅～新町五差路～県道渋川東吾妻線～市道駅前通り線～渋川駅）で行われます。

これに伴い、市では、市民に最先端技術を搭載した自動運転バスに乗車していただき、自動運転に対する理解を深めてもらうとともに、路線バスへの関心を高め、需要喚起及び利用促進を図るため、自動運転バスの乗車モニターを募集します。

2 募集内容

乗車モニターには、市が行うアンケートに回答していただき、市は収集した意見や感想等を今後の交通施策の展開に活用を図っていきます。

（1）一般市民モニター

ア 対象者 次の要件を全て満たす人

①本市に住所を有し居住する中学生以上の人

※中学生は保護者が応募

②次の運行日に運行する自動運転バスに乗車できる人

イ 運行日 令和3年2月22日(月)、25日(木)、3月1日(月) ※計3日間

※当日の荒天等により、実験運行を中止する場合があります

ウ 募集人数 50人（先着順、1便あたり10人の乗車を想定）

エ 参加料 無料

オ 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号、乗車希望日および乗車希望時間（第2希望まで）を電話（0279-22-2264）または直接交通政策課へ

カ 申込期間 令和3年1月12日(火)～27日(水)

キ その他 受付後、モニター用の指定乗車券を郵送します

（2）子どもモニター

ア 対象者 次の要件を全て満たす人

①本市に住所を有し居住する小中学生とその保護者

②次の運行日に運行する自動運転バスに乗車できる人

イ 運行日 令和3年2月27日(土)、28日(日) ※計2日間

※当日の荒天等により、実験運行を中止する場合があります

ウ 募集人数 50組（100人を上限として、先着順）

エ その他 応募方法等の詳細は、後日専用チラシを市内各小中学校へ配布予定

3 自動運転のコース

下記の約3.2km（所要時間約20分）

- ① 渋川駅前～市道中村新町線～
- ② 新町五差路～県道渋川松井田線～
- ③ 県道渋川東吾妻線～
- ④ 藤ノ木東信号～市道駅前通り線～
- ①' 渋川駅前

※実際には四ツ角方面への先回り、市役所方面への先回りの2ルートで運行します



4 その他

(1) 自動運転公道実証実験に関する群馬県の報道発表は、本日予定されています。

(2) 昨年度の実証実験の状況

- ・実験期間 令和元年12月10日～12月24日
- ・実験区間 渋川駅～群馬大学荒巻
- ・モニター数 23人

資料3

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-22-2396 内線2420

「共生社会実現のまち 渋川市」シンボルマークのラッピングバスが運行します

市と関越交通株式会社が、共生社会実現に向けた機運の醸成を図る一環として、「共生社会実現のまち 渋川市」のシンボルマークをラッピングした路線バスの運行を開始します。

運行期間は、令和2年12月21日(月)～令和5年12月20日(水)の3年間です。

1 内 容

渋川伊香保線を運行する路線バスに、「共生社会実現のまち 渋川市」シンボルマークのラッピングバスが走ります。

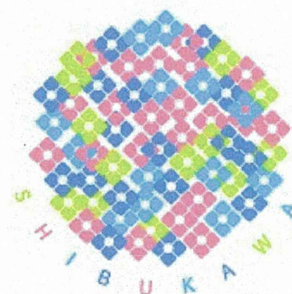
これは、市と関越交通株式会社（代表取締役社長 佐藤俊也）が、共生社会実現に向けた機運の醸成を図る一環で行うもので、渋川伊香保線を運行する路線バスでは初めて導入されるノンステップバスにラッピングを施すものです。

2 運行期間 令和2年12月21日(月)～令和5年12月20日(水)の3年間

3 運行車両 日野 KL-HU2PMEE（ブルーリボンシティ・ノンステップバス）
乗車定員68人

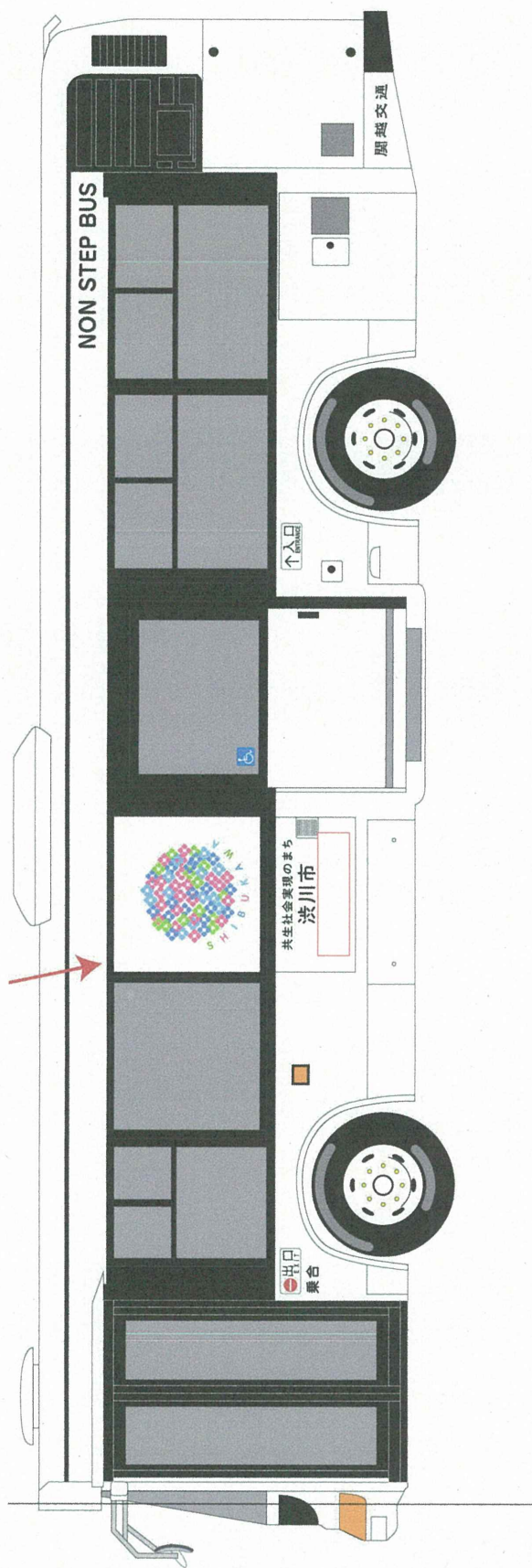
4 その他

運行開始日となる12月21日(月)午後3時から、渋川駅前では渋川市長及び関越交通株式会社佐藤社長立ち会いのもと、お披露目を行います。

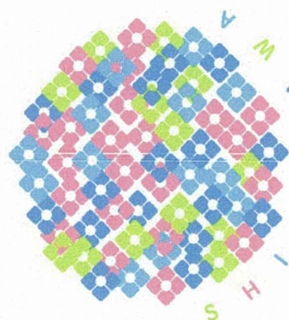


共生社会実現のまち
渋川市

＜施エイメージ＞



＜ラッピングイメージ＞



共生社会実現のまち

渋川市

関越交通は渋川市と共に
この取組を進めています

資料4

担当：総務部財務課 課長 角田 義孝 電話0279-22-2150 内線2150

第3回渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館の あり方検討委員会を一般公開で開催します

1 目 的

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館の設置・運営等に関する今後のあり方について検討を行うために設置された、「渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館のあり方検討委員会」の会議を一般に公開して開催します。

2 日 時 令和2年12月15日(火)午後1時30分から

3 会 場 渋川市役所本庁舎3階 大会議室

4 議 題

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館のあり方について ～提言書骨子(案)～

5 出席予定者

- (1) 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館のあり方検討委員(11名)
- (2) 総務部長、教育部長、財務課長、美術館長、資産経営係長、管理学芸係長、学芸員

6 会議の開催状況

- (1) 第1回渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館あり方検討委員会

①日 時 令和2年7月3日(金)午後2時から

②出席者 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館のあり方検討委員(9名)
市長、総務部長、教育部長、財務課長、美術館長、資産経営係長、
管理学芸係長、学芸員

③議 題 (ア) 委員長及び副委員長の互選について
(イ) 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館あり方について
(ウ) 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館に係る市民アンケートの実施
について

- (2) 第2回渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館あり方検討委員会

①日 時 令和2年10月26日(月)午後1時30分から

②出席者 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館のあり方検討委員(11名)
総務部長、教育部長、財務課長、美術館長、資産経営係長、
管理学芸係長、学芸員

③内 容 (ア) 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館の見学
(イ) 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館に係る市民アンケートの結果
について

資料5

担当：産業観光部農林課 課長 飯塚 裕 電話0279-22-2593 内線4971

県産材を利用した丸太椅子を市役所第二庁舎に設置します

市民等に木材に慣れ親しんでいただき、また木材利用への関心を持っていただくことを目的に、県産材で作成した丸太椅子を市役所第二庁舎2階あじさいサロンに設置します。設置数は10脚。設置開始日は令和3年1月7日(木)です。

1 目 的

県産材を利用した丸太椅子を第二庁舎に設置し、来庁者に触れてもらうことで、市民等に木材に慣れ親しんでいただき、また木材利用への関心を持っていただくことを目的としています。

国産材の積極的な利用は、国土保全及び地球環境保全につながるもので、大きな意義を持つものです。

本市は、森林都市であり、群馬県森林組合連合会の渋川県産材センターが設置され、川上の生産から川中の加工、川下の消費まで市内で行う体制が整っています。

また、本市では、上記目的の達成及び県産材の利用拡大のために、令和2年度の新規事業として、11月から県産材（一部市産材）を利用した積木の出生児へのプレゼントも実施しています。

2 内 容

渋川北群馬木材組合（寺島順一組合長）の協力により、同組合が県産材で作成した丸太椅子を市役所第二庁舎に設置します。

使用する木材は、赤城南麓産の樹齢85年のスギで、第51回群馬県優良素材展示会で林野庁長官賞と群馬県知事賞を同時受賞したものです。

3 設置場所 第二庁舎2階あじさいサロン

4 設置数 10脚

5 サ イ ズ 直径約36cm～38cm、高さ45cm、重さ約30kg

6 設置期間 令和3年1月7日(木)～2月28日(日)（予定）

7 そ の 他

設置期間終了後は、渋川北群馬木材組合から市に寄付されることになっています。



イメージ写真

※実際に設置される丸太椅子
とは異なります。

資料6

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏仲 電話0279-22-2110 内線2411

日本のまんなか渋川・市長と語る会を 伊香保温泉旅館協同組合婦人部 お香女会の皆さんと 「withコロナの時代における伊香保温泉の今後の展望について」 をテーマに開催します

1 概 要

令和元年度から毎月1回、市長と市民との対話方式による会議「日本のまんなか渋川・市長と語る会」を開催し、対話と参加の市政を推進しています。

令和2年度の第7回は、伊香保温泉旅館協同組合婦人部 お香女会の皆さんと、長引くコロナ禍を受けて、「withコロナの時代における伊香保温泉の今後の展望について」をテーマに意見交換を行います。

2 開催日程 令和2年12月15日(火)午後2時～午後3時30分(予定)

3 場 所 伊香保公民館 講義室

4 参 加 者

- ・伊香保温泉旅館協同組合婦人部 お香女会(7名)
- ・市長、市長戦略部長、産業観光部長、観光課長、秘書室長

5 テ ー マ 「withコロナ」の時代における伊香保温泉の今後の展望について